

自然環境教育推進のためのネットワークづくりについて

西表森林環境保全ふれあいセンター 自然再生指導官 佐渡 保信

1 課題を取り上げた背景

南西諸島西南端の八重山列島に属する西表島は、島の約9割が森林に覆われ、固有種のイリオモテヤマネコをはじめとする希少な野生生物が多数生息・生育しています。また、周囲をサンゴ礁に囲まれ海洋生物の多様性も高く、昔から西表島に住む人々はこうした豊かな森や海の恵みを利用し、自然と深い関わりをもって生活してきました。

平成16年4月、西表森林環境保全ふれあいセンターが設置されましたが、業務の一つである森林環境教育を進めていくにあたり、地域のニーズ・取組状況を把握するため、地元の小中学校に対し聞き取り及びアンケートによる調査を行いました。

各校とも、西表島の自然や伝統・文化を生かした教育に取り組む一方で、小規模な学校が多く、学校だけでは専門的な内容に対応することが困難である、支援してもらえる機関・団体の情報が欲しいなどの悩みや要望が聞かれました。

また、八重山地方所在の行政機関、研究機関、団体の中には、環境教育等に関し個別的に支援・協力を行ってきているところもありましたが、その内容がよく知られていなかったり、機関・団体間での情報交換や連絡調整などは行われてきていませんでした。

(図-1)

こうしたことから、学校から出された意見・要望に応える形で、自然環境教育に関し支援可能な西表島所在の関係機関・団体を中心に働きかけを行い、自然環境教育推進のためのネットワークづくりを試みることにしました。

2 研究の経過

約3ヶ月に渡る関係機関・団体への説明、調整を経て、西表島内の小中学校8校と、16の機関・団体の賛同により、平成16年11月「西表島内の小中学校と支援可能な機関・団体が、自然環境教育に関する情報や意見の交換、連絡調整を行い、自然環境教育を推進していくこと」を目的とした自然環境教育推進のための連絡会を開催しました。

3 実行結果

連絡会では、各機関・団体の活動・業務内容や、自然環境教育に関し支援可能な内容、支援例の紹介を行うと共に、これら情報を取りまとめた小冊子を作成しました。

また、出席者から、島内の子供達が中学を卒業して島を離れるまでに、西表島の自然、人々と自然との関わりについて一通り学べるような自然環境教育カリキュラムの作成、カリキュラム実施に対する支援体制の構築などの提案も出されました。

平成17年度は、12月頃開催を予定している連絡会の成果として、カリキュラムの作成と各機関・団体の支援体制の取りまとめを予定しており、このための検討部会を3回開催してきました。

4 考察

この自然環境教育推進のためのネットワーク(連絡会)は立ち上がって間もないことから、まだ有効に機能しているとは言い難い面があります。しかし、支援・協力情報が入手できるようになったこと、各機関・団体が共同で協力する例も少ないながら見られることから、自然環境教育の支援体制が徐々に整ってきていると言えます。(図-2)

今後は、竹富町教育委員会でホームページの立ち上げを予定していることから、連絡会で作成したカリキュラムや各機関・団体等の支援情報を掲載してもらい、合わせて各機関のHPへのリンク等も行って、一般の方々にも容易に情報が入手でき、支援・協力を受けられるようなものになればと考えています。(図)-3)

図 - 1

今までの支援・協力関係

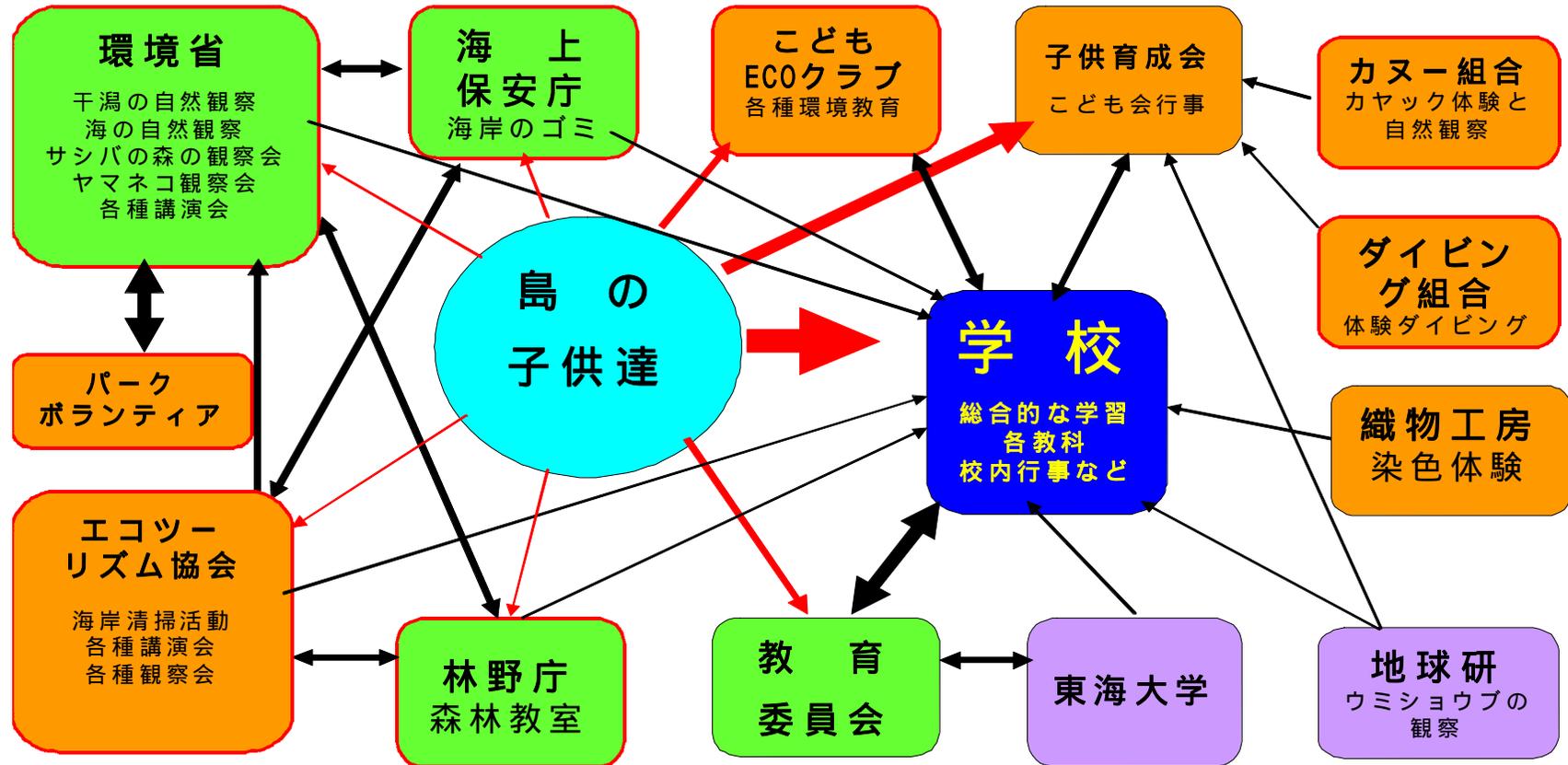
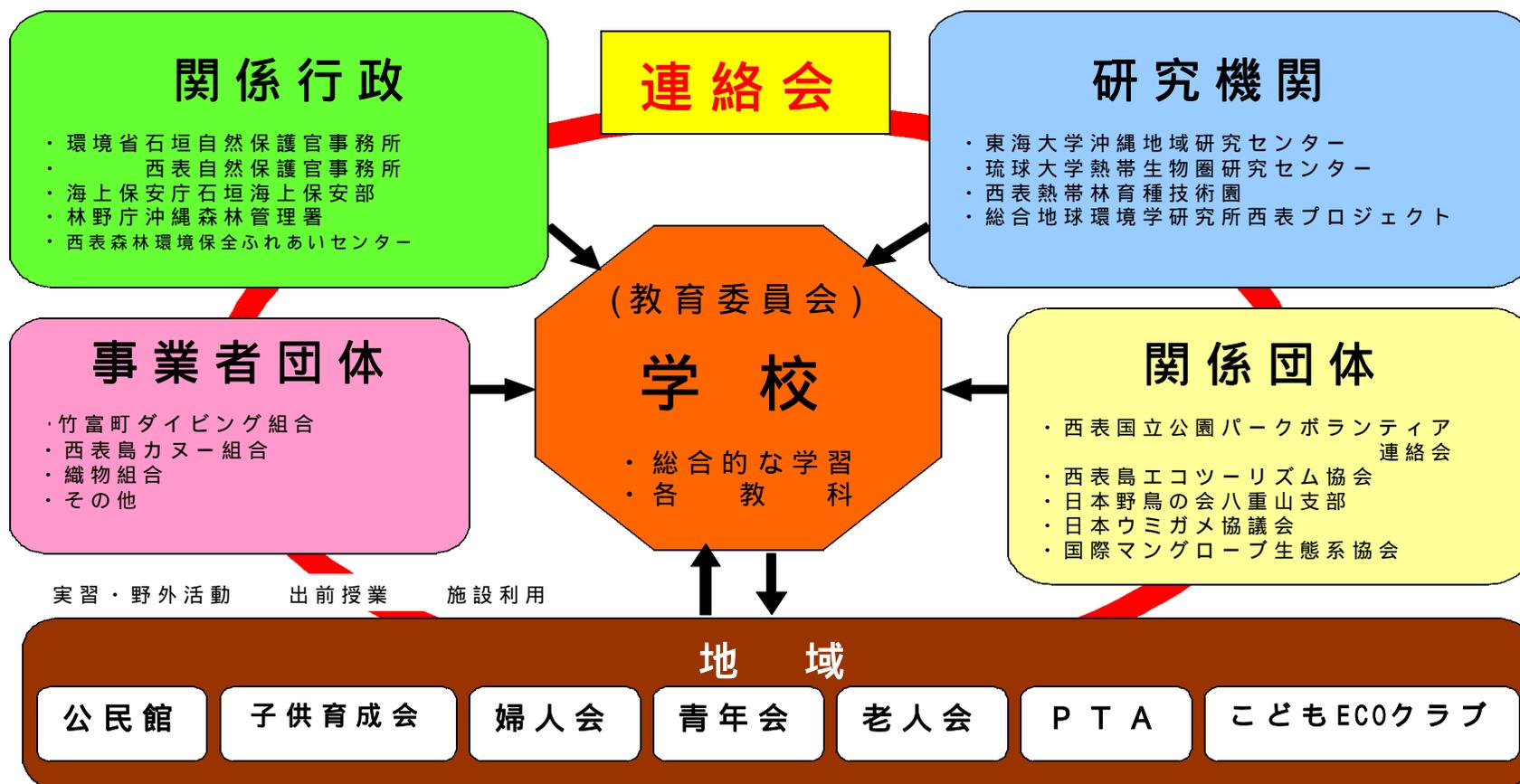


図 - 2

自然環境教育推進の ためのネットワーク



カリキュラムのイメージ

学年 / 分野	海の自然	山の自然	マングローブ林	野生動物	生活の知恵	……
小・低学年	サンゴ礁の観察	森林の観察	マングローブの観察	西表島に棲む野生動物	おもちゃ縄	……
小・中学年	サンゴ礁の役割	西表島の樹木・草類	マングローブ林に棲む生物	野生動物の保護	鍋敷藁ぼうき	……
小・高学年	サンゴ礁をめぐる問題	森林と生活との関わり(林業など)	マングローブ林の役割、問題	イリオモテヤマネコ・カンムリワシの生態	草木染月桃紙	……
中学校	サンゴ礁の保全活動 スノーケリング・スクーバダイビングでの観察	希少種の保護 生物多様性の保全(外来種対策)	マングローブ林の保全活動 カヤックでの観察	野生動物保護と問題点 生物多様性の保全(外来種対策)	円座 芭蕉布 芭蕉紙	……